

140人がふるさとを懐かしむ

関東近郊に在住する鶴田町出身者でつくる「ふるさと鶴田会」（川村正五会長）の総会が7月4日（土）、東京グリーンパレス（東京都千代田区）で開催され、参加した約140人が再会を喜びました。

川村会長は「私たち会員も鶴田町の発展に寄与したい」とあいさつ。会場では、スチューベンを使ったサブレやカレーのほか、干し餅やうんぺい、サクランボなども販売され、参加した皆さんが懐かしいふるさとの味を買い求めていました。

アトラクションでは、会員の小関義隆さんによるスコップ三味線の演奏や、川村貞男さんの津軽三味線の演奏と民謡が披露され、会場を大いに盛り上げていました。



△鶴田町を懐かしみ、全員で「ふるさと」を合唱



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場総務課まちづくり班（内線264）までお知らせください。

柔道少年団が大会出場を報告

7月8日（水）、町柔道少年団の選手が相川町長を訪れ、東北大会と全国大会への出場を報告しました。大川響生選手は「大将として負けないように頑張りたい」と決意。太田明監督は「毎日の練習の成果を発揮させたい」と話していました。

出場大会と選手は次のとおり。

- 第23回東北柔道大会（青森県）
大川響生選手、増田彪牙選手、神美華選手、駒井仁人選手、佐藤信吾選手
- 第12回全国小学生学年別柔道大会（山梨県）
永田大和選手
- 第24回日整全国少年柔道大会（東京都）
増田彪牙選手、佐藤信吾選手



△東北大会と全国大会での健闘を誓った鶴田町柔道少年団の選手

大盛況!! ふえすてまる

7月11日(土)、町商工会青年部主催で「ふえすてまるinつるた」が役場駐車場で開かれました。

4回目の開催となったイベントでは、フリーマーケットやビンゴ大会などの催しのほか、当町出身の葛西頼之さんによる津軽三味線の演奏や御所川原囃子心組の囃子が披露されました。また、豪華商品が当たるオークションも行われ、参加した皆さんは、「2000円!」「2500円!」などと声を張り上げ、お目当ての商品を競り合っていました。

五所川原市から家族で訪れた竹浪咲希ちゃん(5歳)は「焼きそばとアイスがおいしかった。イベントは楽しかったのでまた来年も来たい」と笑顔で話していました。



△豪華賞品(手前)が用意され、大勢の人々にぎわいました。



△県警音楽隊とカラーガード隊が大会を盛り上げました。

交通事故ゼロに向け町民が決意

7月23日(木)、町の交通安全決起大会(町交通安全対策協議会主催)が役場町民プラザで開かれ、参加した約250人が、交通ルールの遵守と交通マナーの向上を誓いました。

大会では、五所川原警察署の鈴木誠署長と相川町長があいさつした後、鶴田中央保育所の園児が鼓笛の演奏を披露。町老人クラブ連合会の乗田勝雄会長とサンシャインスクール代表の小野心路さんが、町の交通事故ゼロに向け、交通ルールと交通マナーを守る決意表明を述べました。

大会後には、参加した皆さんが、県警音楽隊とカラーガード隊とともに、交通安全を呼び掛ける町内パレードを行いました。

メディコトリムで健康づくり

7月23日(木)、メディコトリム(健康教室)が町公民館で開かれ、参加した町民約20人が健康づくりに向けた意識を高めました。

メディコトリムは、「メディカル(医療)」と「トリム(整える)」の造語で、医師のアドバイスのもとで、食事運動などを改善し、生活習慣病を予防することを目指すものです。教室では、青森県立中央病院の小野正人先生が、人生を最後まで楽しむためには、「脱メタボ」、「脱口コモ」、「脱認知症」の3つが大切であると説明。また、認知症については、「さまざまな療法があるが、早期発見によって、本人も周りの人たちも認知症への心構えをしやすくなる」と話していました。



△メディコトリムの参加者にアドバイスする小野先生(左)